

コーポレートコミュニケーション部：名古屋市東区東片端町8番地 Tel 052-950-6307 Fax 052-961-4071
(コード番号 9 9 8 7 東証プライム市場、名証プレミアム市場、札証)

2026年3月25日(水)

社会課題対応型ヘルスケアロジスティクス事業の展開に向けて

株式会社スズケン(本社：名古屋市、代表取締役社長：浅野茂)は、2026年2月12日に、4月1日付にて株式会社エス・ディ・コラボ(以下「エス・ディ・コラボ」)の会社分割による新会社「株式会社コラボクリエイト」(本社：東京都中央区、代表取締役社長：副島秀継、以下「コラボクリエイト」)を設立する旨の適時開示を行っています。

本日開催の取締役会において、コラボクリエイトは「三井倉庫ホールディングス株式会社」、「セイノーホールディングス株式会社」、「東邦ホールディングス株式会社」、「大木ヘルスケアホールディングス株式会社」、「株式会社八神製作所(セイエイ・エル・サンテホールディング株式会社)」、「宮野医療器株式会社」との合弁体制および「ソフトバンク株式会社」との業務提携により、社会課題に対応したヘルスケアロジスティクス事業を共同展開していくことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 新会社設立の目的と背景

日本の医療・ヘルスケアを取り巻く環境は、少子高齢化の進行と在宅・地域医療の拡大により需要が複雑化する一方、担い手不足や地域偏在、物流 2024 年問題に象徴される輸配送能力の逼迫など、供給側の制約が同時に強まっています。

医薬品・医療機器の高度化・専門化に伴い、品質・温度帯・リードタイムなどの厳格な管理要件への対応が不可欠となる中、災害時を含む安定供給や医療体制の確保は、単独企業の努力だけでは限界が見え始めています。

さらに、過剰在庫や廃棄ロスの削減、共同化による CO₂排出量の低減など、社会コストおよび環境負荷の最小化に向けた社会課題への取り組みも急務となっています。

こうしたさまざまな課題が複合的に進行する状況において、メーカーや卸、医療機関といった枠組みから、調達・製造・保管・輸配送・ラストワンマイル、さらには医療現場・在宅ケアなどバリューチェーン上の各領域を軸に課題を可視化し、課題解決に向けた提案を設計・運用する仕組みづくりが求められています。

各社が単独で個別に強みを発揮するだけでなく、それらを重層的に組み合わせ、社会的価値(安定供給・BCP・環境配慮)と経済的価値(効率化・新市場創出)を両立させるプラットフォームの構築が新しい価値の創出につながるものと考えています。

以上を踏まえ、コラボクリエイトは、「社会のためにお役に立つ」という共通の理念のもとに結集した企業体であり、社名「コラボクリエイト」には、参画企業が協働し互いの知恵と経験を持ち寄って共に新しい価値を創造していくという思いと、各パートナー企業からの賛同の意味が込められています。

さらに、各パートナー企業から取締役(非常勤)および専任担当者を派遣いただく体制の下、当社グループおよび各パートナー企業のアセットや機能、知見を有機的に組み合わせることで、単独では実現が難しい解決策を効果・効率的に実装してまいります。

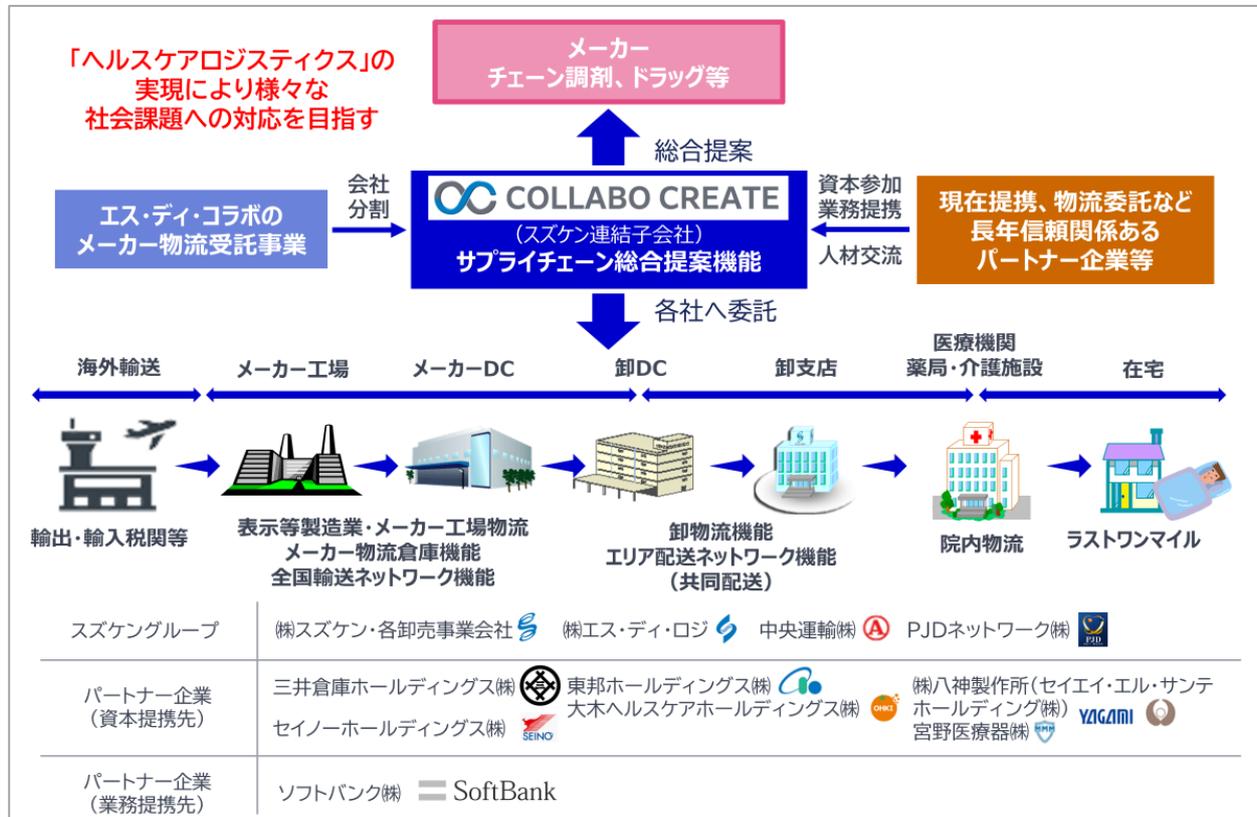
こうした取り組みにより、持続可能性を備えた「比類なきヘルスケアロジスティクス事業」の構築を目指し、広範囲におけるヘルスケア領域の多様なロジスティクスの課題に取り組んでまいります。

2. コラボクリエイトの役割

コラボクリエイトは、当社グループおよび各社から取締役（非常勤）や専任担当者を交え、それぞれが有するアセットや機能、知見を結び付け、ヘルスケア領域の多様なテーマに対して最適な物流ソリューションを設計・提案するノンアセット型の総合提案企業です。

医療用医薬品に加え、ヘルスケア商材（医療機器・材料、診断薬、ニュートリション、OTC など）を対象に、メーカー、医療機関、地域のニーズに中立的な立場で応えてまいります。

■事業モデルのイメージ図



[コラボクリエイト]

- ・総合窓口：コラボクリエイトが中立的な窓口となり、ニーズに最適化した総合提案を実施
- ・市場開拓：共同による提案により、単独では到達し得なかった新規領域を開拓
- ・人材・ガバナンス：パートナー企業からの取締役（非常勤）および専任担当者との交流により、それぞれの知見を融合し、専門人材を育成

[各事業会社]

- ・実行体制：実運営は当社グループおよびパートナー企業（子会社含む）が担う
- ・収益配分：得られた利益は事業を担った各社に還元する

3. 新会社の概要

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社コラボクリエイト（英文：Collabo CREATE CO., LTD） |
| 所在地 | 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21 MSH 日本橋箱崎ビル 14F |
| 主要役員 | 代表取締役社長 副島 秀継 ， 取締役会長 浅野 茂 |
| 設立日 | 2026年4月1日（予定） |
| 資本金 | 50百万円（増資後は100百万円を予定） |
| 事業内容 | ・医薬品のメーカー物流受託事業 ・ヘルスケア商材（医療機器・材料、OTC など）の総合提案・物流受託事業 |
| 株主構成 | スズケン 100%、増資後はスズケン 55%（予定） |
| 従業員数 | 設立時 15 名、増資後は 30 名程度（予定） |
| 決算期 | 3月 |

- ・各パートナー企業からの出資は5月下旬を予定しております。
- ・各パートナー企業の出資比率や役員の派遣等に関する内容は、公表を差し控させていただきます。

4. 参画するパートナー企業および概要

<出資先>

■三井倉庫ホールディングス株式会社について (<https://www.mitsui-soko.com>)

1909年創業以来、倉庫保管・港湾運送・国際輸送をはじめとする物流サービスを展開する総合物流企業グループの持株会社です。「P&M (Pharma & Medical) センター」というブランドで東西にヘルスケア専用倉庫を保有し、単なる保管に留まらず「医薬品製造業」や「医療機器製造業」の業許可を取得し、医薬品・医療機器業界のお客様に総合的な物流サービスを提供しています。法令や省令に準拠した厳格な品質管理体制を構築し、お客様の持続的なサプライチェーン構築を支援しています。

■セイノーホールディングス株式会社について (<https://www.seino.co.jp/seino/shd>)

「価値創造」をセイノーグループの使命とし、「カンガルー便」を提供する輸送事業を中心に、自動車販売事業、物品販売事業、不動産賃貸事業、その他関連事業をグループ101社・約34,000人の従業員にて展開しています。共創・共生の考えのもと、業種や業態を超えてつながり、お客様のお困りごとを解決する新たな価値を提供することで、お客様の繁栄に貢献し、「すべての人に笑顔と幸せをお届けする」よう挑戦を続けています。

■東邦ホールディングス株式会社について (<https://www.tohohd.co.jp/>)

医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、「全ては健康を願う人々のために」のグループスローガンの下、医薬品卸売、調剤薬局、医薬品製造販売、顧客支援システムの開発・提供等の事業を展開するとともに、地域医療連携や在宅・介護分野への取り組みを積極的に推進しています。

「安心・安全な医薬品流通」を社会的使命とし、物流センターへの先端技術の積極的な導入や、自動化の徹底による物流の効率化など、医薬品物流のイノベーションに挑戦し続けます。

■大木ヘルスケアホールディングス株式会社について (<http://www.ohki-net.co.jp>)

医薬品・化粧品・日用品を扱う大木グループ各社を統括する持株会社で、一般用医薬品（OTC）を中心に卸売事業を展開しています。創業は1658年に遡り、長い歴史を持つ医薬品卸「株式会社大木」を中核に、ドラッグストア、スーパーやコンビニなど生活密着型の小売業へ広く供給しています。

■株式会社八神製作所（セイエイ・エル・サンテホールディング株式会社）について

(<https://www.yagami.co.jp>) (<https://www.seiei-ashd.co.jp>)

八神製作所は、創業の1871年から医療機器の専門商社として医療に関わる事業を営み、現在はセイエイ・エル・サンテホールディングの一員として、「予防」「医療」「介護」の3事業を展開しております。

セイエイ・エル・サンテホールディングは、医療機器卸売事業会社を中心としたグループ各社を統括する持株会社で、グループ全体の経営管理のほか、デジタル推進および物流企画を担っています。

■宮野医療器株式会社について (<https://www.miyano.co.jp/>)

宮野医療器は、1946年の創業以来、医療機器・理化学機器の専門商社として、医療現場から研究機関まで多様な製品とサービスを提供してきた企業です。幅広い機器の取り扱いと、技術動向の把握・情報収集・迅速な対応を重視した企業姿勢のもと、パートナー企業のニーズに応じた提案と供給体制を整えています。

<業務提携先>

■ソフトバンク株式会社について (<https://www.softbank.jp/business/>)

「情報革命で人々を幸せに」というソフトバンクグループの経営理念の下、通信サービスと多様なソリューションを提供しています。「Beyond Carrier」を掲げ、非通信領域を拡大し、5G/6GやIoT、非地上系ネットワーク（NTN）などを推進。AIデータセンターや日本語特化LLM、AI-RANを通じ、デジタル化社会を支える次世代社会インフラの提供を目指しています。

以上

<お問合せ先>

株式会社スズケン コーポレートコミュニケーション部 林

〒461-8701 名古屋市東区東片端町8番地

TEL:052-950-6307 FAX:052-961-4071

<https://www.suzuken.co.jp>